

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 新日本製鐵(株) 広畑製鐵所

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

<所スローガン>

地域から信頼される製鐵所を目指して

<目標>

- ・「環境事項ゼロ」の達成
- ・資源循環型社会への貢献

<重点項目>

1. 環境関連法、条例、協定等の徹底遵守
2. 全所員が一体となった環境保全活動の実施
3. 大気・排水・ばい塵等の環境改善対策の推進
4. 省エネルギー、省資源、リサイクル活動の推進

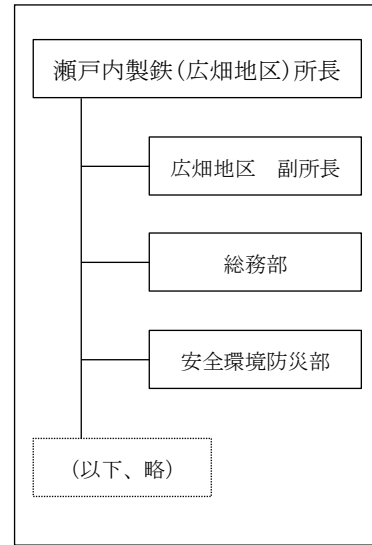
1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

令和2年4月1日

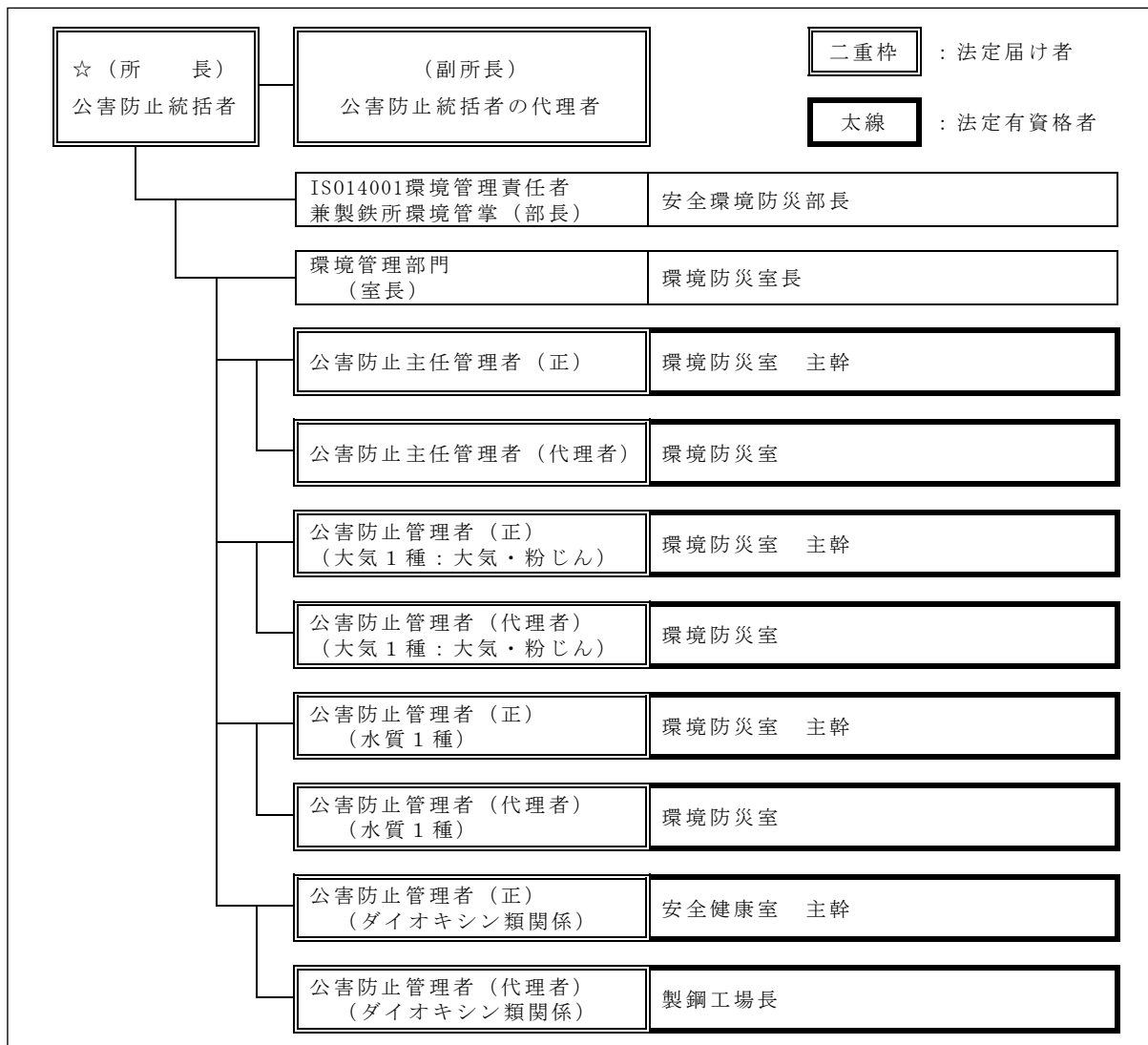
1 公害防止組織法に基づく公害防止組織

公害防止統括者	職名 氏名	瀬戸内製鉄所(広畑地区)所長
公害防止統括者の代理人	職名 氏名	副所長
公害防止主任管理者	職名 氏名	環境防災室 主幹
公害防止主任管理者の代理人	職名 氏名	環境防災室
公害防止管理者 (大気1種)	職名 氏名	環境防災室 主幹
公害防止管理者の代理人 (大気1種)	職名 氏名	環境防災室
公害防止管理者 (水質1種)	職名 氏名	環境防災室 主幹
公害防止管理者の代理人 (水質1種)	職名 氏名	環境防災室
公害防止管理者 (ダイオキシン類関係)	職名 氏名	安全健康室 主幹
公害防止管理者の代理人 (ダイオキシン類関係)	職名 氏名	製鋼工場長

2 瀬戸内製鉄所広畑地区組織図 (抜粋)



3 環境管理組織の体系



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
大気環境 保全活動	(1) 粉塵対策の継続実施 ・令和元年度対策として以下を実施 ① 製鋼地区 ア) 老朽壁更新 : 3月 イ) 環境設備(集塵機等)の維持管理 : 継続 ② DPR 地区 ア) コンベア集塵対策 : 6月 イ) 高所ミスト散水の24時間対応、場内散水 : 継続 ③ 石炭ヤード防塵コーティング : 継続 ④ 道路清掃24時間対応 : 継続	・令和元年度までの対策の継続効果発揮 ・令和2年度粉塵対策の実行 ①製鋼地区対策 : 土間散水強化 ②DPR 地区対策 : コンベア集塵対策 ③道路発塵対策 道路清掃車両更新
	・道路散水、ヤード散水、高所ミスト散水の強化実施 ・発塵抑制対策設備の維持管理強化	継続実施
	(2) 大気汚染防止法に基づくばい煙監視の体制強化 (構内他企業含む)	構内の主要他社の環境監査実施
排水管理 強化活動	(1) 各工場毎の模擬排水停止訓練の実施	訓練は構内主要他社参加
	(2) 岸壁・護岸定期パトロールの実施	継続実施
	(3) 排水監視機器の維持管理継続中	継続実施
	(4) 構内他社の管理指導 ・環境管理部門による主要構内他社の環境監査実施	継続実施
臭気・騒 音対策	(1) 臭気対策の推進 ・構内他社も含め臭気懸念箇所の調査と対策の推進	継続推進
	(2) 騒音対策の企画 ・騒音発生源の調査と抑制対策の企画及び対策の推進	継続推進
廃棄物適 正処理化	(1) 構外委託処理物の構内処理化拡大	継続推進
	(2) 電子マニフェスト化の推進(令和元年度実績:100%)	継続推進
	(3) スラッグの利用用途拡大の企画推進	継続推進
省エネ ルギー活動	(1) 省エネ対策工事の着実な実行	実行中
	(2) 身近な省エネ活動の推進(業務の効率化、テレビ会議活用等)	継続中
	(3) ペーパーレス化の推進	継続中
ISO14001	(1) 内部監査の実施 ・令和元年10月~12月、全部門実施完了	令和2年10月から全部門実施予定
	(2) 本社環境部による環境監査 ・令和元年9月12日~13日	令和2年9月以降で本社による定期監査予定
	(3) 外部審査会社(JICQA)による更新審査完了 ・更新審査:令和元年12月16~18日→更新審査合格	令和3年2月定期審査予定
環境教育	(1) 環境リスク教育(6月環境月間)に実施。	☆実施(職場毎個別研修会で対応)
	(2) 所内教育計画に基づく実施 ・年代別、階層別教育計画に基づき実施	☆継続実施(計画見直し)
地域社会 活動	(1) 工場見学受入(受入者総数:約3026名)	☆受入れ中止中
	(2) 製鐵所周辺清掃活動:正門通(3回/年)。 電磁門通(4回/年)他	☆活動見合せ又は中止
	(3) 緑の町スポーツ大会:8月18日	
緑化対策	(1) 既存緑地の維持管理強化	継続実施

☆新型コロナウイルス対応で活動の自粛、見合せ及び中止等の影響を受けているもの。